

名物プレジデントとして10年活躍。
「オラが村のトレッサ」であり続けて欲しい。

「地元へ根付いた、なくてはならない存在になること」、トレッサ横浜のコンセプトとして、この思いはオープン当初からずっとぶれずに持ち続けてきました。同時に、地元の皆さんと本音でぶつかったからこそ、今の関係性が築けたと思っています。

こんなことがありました。オープンして2年経ったころ、会員カードに付与されるポイントの有効期限が切れたんです。そこでポイントが失効したお知らせのDMを送ったところ、「失効してから連絡するとは何事だ」と多くのお叱りを受けました。その後しばらくして「ポイントがたまるのが楽しかった」と、高齢の女性からお言葉を受けたのです。そこで、ファンを無くすことの重大さに改めて気づき、ポイントを復活させ、さらにお知らせするDMを再送付。

コストはかかりましたが、皆さんの期待も、一旦下がった売上も回復することができました。こうしたことは、現場を大切にしながらこそ見えたのだと思います。

また私は記録にもこだわり、売上や来場者数はもちろん、いろいろなことを数値化し、働く皆さんと課題や成果を共有してきました。朝会は毎日開催、毎月のレターや壁新聞でメッセージを送ったり、記録が出た際には大入り袋を出したりしました。こうして一人ひとりがトレッサを運営していると感じられる、現場の環境づくりをしてきたつもりです。

私は6月で退任しましたが、今後もここにかかわる皆さんにとって「オラが村のトレッサ」であり続けて欲しいと思います。

トレッサ横浜
2代目プレジデント
栗原 郁男

- 1979年 トヨタ自動車販売株式会社 入社
車両部・商品企画部・調査部・宣伝部を経験
- 2005年 トレッサ横浜のコンセプトから参画
- 2009年 トレッサ横浜プレジデント就任
- 2019年 退任

IKUO KURIHARA



私の
トレッサ
横浜

トレッサ横浜とかかわりの深い皆さんから、
印象深い思い出や、今後期待することなどを伺いました。

プレジデントを筆頭に、「現場」を何より大切にしていることでトレッサらしさが生まれていると感じます。掲げられるさまざまな目標を、現場の一人ひとりとして共有しながら進めたことも、今の成功につながっているのではないのでしょうか。



トレッサ横浜
サポートセンター 所長
丸山 秀樹さん

地域と一緒に成長して
いこうという姿勢が嬉しいですね。盆踊りなどのイベントをはじめ、パトロールや防災訓練などを一緒に行っていますが、トレッサは「地域の家」のような存在です。2018年に警察官立寄所をつくってもらったことも、良い思い出になっています。



師岡地区連合
町内会長
吉田 博史さん

トレッサと横溝屋敷は隣接していますが、トレッサのオープン以来、子ども連れの若い世代が多く遊びに来られるようになりました。イベントにも協力させていただいていますが、今後もさらに賑わう場所であって欲しいですね。



横溝屋敷
館長
新田 弘子さん

子育て世代のママたちにとって、トレッサは地域とかかわりを持つ拠点となり、さまざまな選択肢を増やしてくれています。今後は、子どもが成長して戻ってきたとき「ふるさと」のように感じられるような施設になっていって欲しいと思っています。



認定NPO法人
びーのびーの
理事長
奥山 千鶴子さん

トレッサができた当時、主婦や子どもは大喜びしていましたね。今では地元にはなくてはならない場所になりました。盆踊りや豆まきなど季節のイベントも楽しみの一つ。現在館内にあるコミュニティハウスに勤務していますが、その利用率は横浜で一番なんです。



師岡コミュニティハウス
椿 和代さん

Memorial Album

トレッサ 横浜

TRESSA YOKOHAMA



緻密なマーケティングで、PDCAを具現化。 「子育ての聖地」として、地元住民から愛される。

2008年にグランドオープンして以来、「トレッサ横浜」が目指してきたのは「子育ての聖地」。データ管理と集積による緻密なマーケティングで、子育て世代はもちろん、それ以外の幅広いファン層も獲得してきました。店舗への覆面調査では、接客態度や笑顔に対して業界トップレベルの高評価を誇っています。地元になくなくてはならない存在であり続けるため、いま、気持ちも新たに走り出しています。



2009年
7月
スタート

ボルドー音楽祭

フランス(リヨン)の街並みを再現した広場にぴったりなこの音楽祭は、演奏者もフランスからお越しいただいたプロの方々。上質な音楽を毎年楽しみにされるお客さまも多くいらっしゃいます。

トレッサ祭

地元の小学生から中高年の方まで年代を問わず、ダンス・歌・演奏などを披露。習い事やサークル、部活動の発表の場として毎年盛り上がりを見せています。

2009年
9月
スタート



2009年
12月
スタート

わくわくアイスワールド

初めてのスケートを体験するには最適な、お子さまが安心して練習できるスケートリンク。プロのスケート選手によるスケート教室には大人の見学者も大勢集まります。

イルミネーション

15万球以上のLEDが青く輝き、雪のクリスマスを演出。毎年11月に行われる点灯式では、当日限定のキャンドルアートでより幻想的な雰囲気を楽しめます。

2009年
11月
スタート



夏祭り 盆踊り大会

地元町内会から100名以上の踊り手が参加し、檐の周りを踊る姿はトレッサ横浜の夏の風物詩。「子供太鼓」の演奏や縁日も行われ、毎年夏休みのお子さまたちで賑わいます。

2015年
8月
スタート

Memorial Album

節分 豆まきイベント

「なまはげ」や「鬼」も登場し、江戸時代末期から伝わる「厄払いのこぼし」も吟じられるこのイベントは、多いときで約600人のお客さまが参加。子どもの部と大人の部に分かれて豆まきを行います。

2010年
2月
スタート



全日本スカッシュ選手権大会

国内初の全面グラスコートを用いたリヨン広場に設置。白熱の試合を間近で観戦でき、スカッシュの面白さを改めて体験することができます。

2018年
11月

